

基本設計の概要

※右平面図の諸室の数字は諸室の面積を示している。

《増築棟Ⅰ階》

エントランスフロア

年代を問わず誰もが気軽に入りやすく、のびのびと過ごせる、ゆったりとした増築棟Ⅰ階全体のフロア。健康づくり支援及び子どもと子育て家庭への支援において「支援の入口」「地域活動の入口」といった要素を含み、相談・支援・活動につなぐことができる。

誰もがのびのびと過ごせるスペース

ロビーラウンジ及び多目的スペースは、誰でも利用でき、一部を飲食可能なスペースとするなど、気ままにゆったりとおしゃべりができる空間

多目的スペースには、ミニキッチンやスライディングウォール（SLW）を設け、各種イベント等、様々な使い方が可能。自販機コーナーには自動販売機や冷水機、授乳室には調乳用温水器を設置。また、キッチンカーが出店できるスペースの確保についても検討



▲ミニキッチンのイメージ
くにたち未来創造拠点
矢川プラス【国立市】

情報発信、情報交換の場

エントランスフロアに、デジタルサイネージやプロジェクターを設け、健康づくり支援及び子どもと子育て家庭への支援に関する様々な情報を発信。講演会や上映会のイベント等を実施するほか、ヘルスプロモーションスペースでは健康啓発や測定、健康づくりに関する各種講座の受講や健（検）診の受診の勧奨及び申込、団体（サークル）支援スペースでは子育て支援団体の情報交換等を実施

アクティブスペース

全世代を対象に健康づくり支援センターが実施する各運動プログラムを実施。エントランスフロアに配置し、中の様子をうかがえる設えとすることで、来館者の健康意識を高め、参加につながりやすくする。プログラム時間外では、子どもの居場所や子育てひろばとしても利用

子育てひろば、子どもの居場所

エントランスフロアに配置し、中の様子をうかがえる設えとすることで、子育てひろばや子どもの居場所を知ってもらい、利用につながりやすくする。子どもやその保護者が自由に来所でき、気軽に相談もできる。子ども子育て総合相談窓口と同じフロアに配置し、相談支援との連携を図る。

新型コロナウイルス及び災害発生時に転用可能なスペース

新型コロナウイルス発生時には、エントランスフロアを臨時ワクチン接種会場等に転用。そのため、ロビーラウンジは広く設計。Ⅰ階に配置することで、バリアフリーで円滑なワクチン接種が可能。出入口を複数（主出入口【西側】、公園側出入口【東側】、搬入用出入口【北側】）設け、接種者の動線を確保

災害発生時には、エントランスフロアを災害時医療支援拠点及び災害薬事センター等に転用。そのため、ロビーラウンジは広く設計。専門職による応援チームや物資の受け入れが可能なスペースを確保

《既存棟Ⅰ階》

健康課及び子ども子育て総合相談窓口、相談室等

健康課及び子ども子育て総合相談窓口は、各種手続や相談等に訪れる市民にとってわかりやすいよう、エントランスホールから見える位置に配置。また、エントランスフロアに隣接させることで、具体的な相談、支援が必要な方を迅速に専門性の高い職員に引き継ぐことができる。

相談室等は、プライバシーに配慮し、エントランスフロアから少し離れたところに配置するとともに防音性を確保。オンライン相談にも対応できる設え



配置図兼1F平面図
NO SCALE

「増築棟2階」

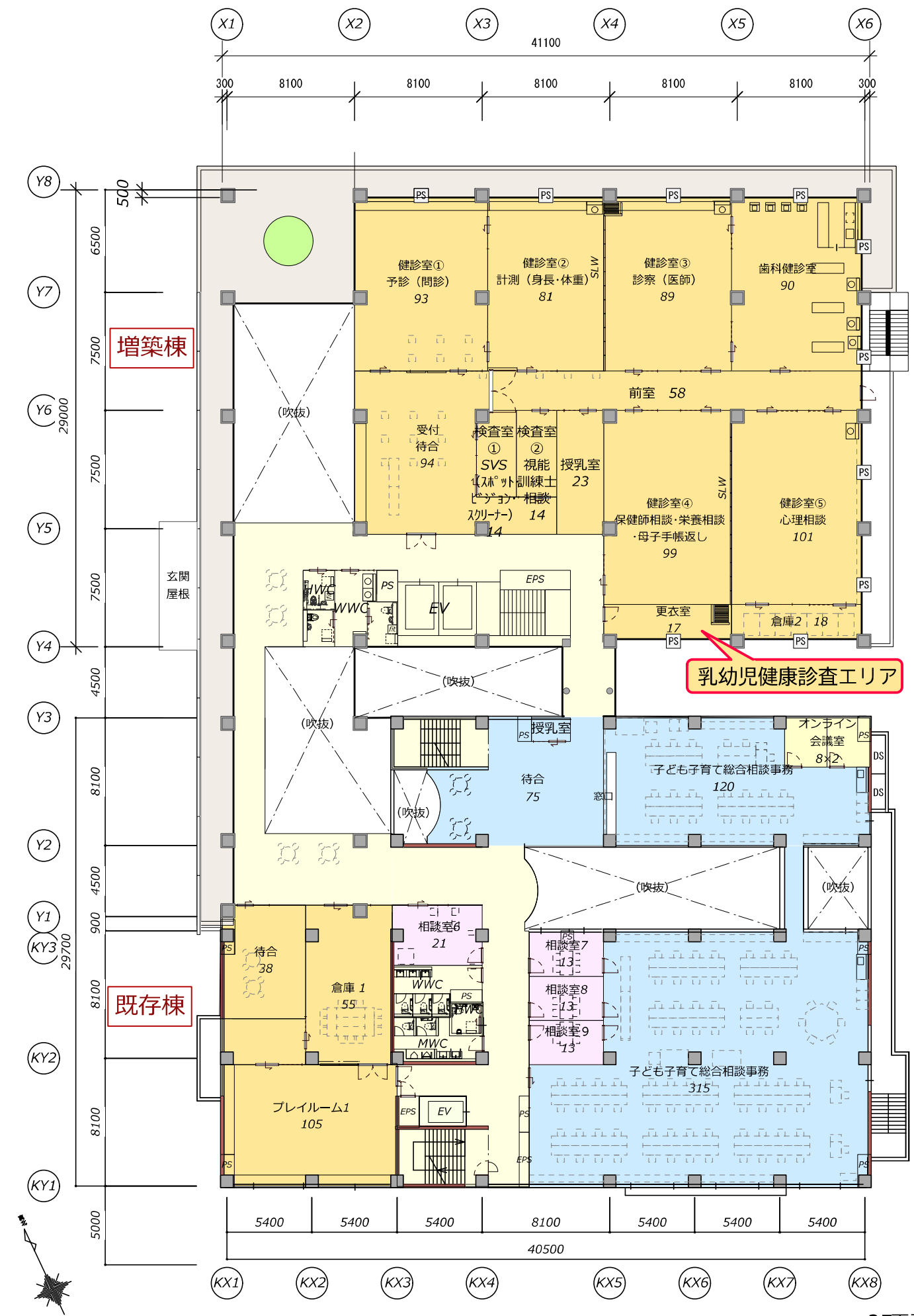
乳幼児健康診査エリア

乳幼児健康診査・歯科相談、健診後経過観察グループ、このとり学級（両親学級）等を実施
乳幼児健康診査等は現保健センター建設後に保健所から移管された事業。移管後も診査項目の追加等があり、現保健センターでは手狭な状況、かつ1階と3階でフロアをまたいで健診を実施するなど受診者の負担が大きい。このため、安全・安心で円滑に受診ができるよう、感染対策として密にならず、同一フロア内で一方通行の移動を基本とした受診が可能となる利便性の高いスペース配置を行う。
乳幼児健康診査エリアの一部諸室にスライディングウォール（SLW）を設け、大人数での講座（健診後経過観察グループ、このとり学級（両親学級）等）を行うことができるスペースを確保
現保健センターの授乳室は1家族分が利用できるスペースしかなく、利用を希望するタイミングで利用できないことが健診を行ううえで支障となっているため、2家族が同時に利用できるよう整備

「既存棟2階」

子ども子育て総合相談事務、相談室等

母子保健・児童福祉・療育相談・教育相談等の相談支援機能を同一施設内に設置（※）し、多様な部門でより高度な連携を図ることにより、妊娠期から子どもが18歳になるまで切れ目なく子どもと子育て家庭を支援する体制を構築。専門職同士が日々の業務において連携しやすくなるよう、事務スペースをワンフロアに配置（※現在は母子保健は保健センター、児童福祉（子ども家庭支援センター）は市役所、療育相談（児童発達支援センター）はみどりのこども館、教育相談（教育支援センター）は大野田小学校に設置）
事務スペースから相談室やエントランスフロア、乳幼児健康診査エリア等への円滑な移動を可能とするため、回遊性のある動線を施設の中心にあるエレベーターや階段等の外周に確保
相談室等は、プライバシーに配慮し、防音性を確保。オンライン相談にも対応できる設え



2F平面図
NO SCALE

「増築棟3階」

老成人健（検）診エリア（公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団）

がん検診、各種健（検）診、特定保健指導、地域医療機関との連携による依頼検査、総合健康診査（人間ドック）、市内事業所等の職域健診等を実施

現保健センターでは、一般来館者も利用する通路を隔てて検査室・健診室が配置されており、検診着を着た受診者と一般来館者の動線が交錯するなど利便性が低く、配慮に欠ける状況。このため、施設整備後は老成人健（検）診エリア内に全ての検査室・健診室を配置し、受診者が円滑に移動できる安全・安心かつ利便性の高いスペース配置を行う。

受診者が円滑に移動できるよう、受付に近い待合1の周辺に利用者数の多い諸室を配置。利用者が限定されるCTや、胃内視鏡（内視鏡）等は奥に配置。また、マンモグラフィ（MMG）は、プライバシーに配慮し前室を設置

施設整備時の移設による検査機器等の故障リスクや高額な移設費用を考慮し、再度移設する必要がないよう、老成人健（検）診エリアを増築棟に配置。検査機器等の更新時の搬出入経路として、増築棟と既存棟を接続する屋上階を確保し、平常時においては来館者や職員の憩いの場とする。

「既存棟3階」

子どもの権利擁護窓口・事務

利用者のプライバシーに配慮し、エントランスフロアや子ども子育て総合相談窓口・事務から離れた3階に配置

多目的ルーム（中）1・2、（小）

多目的ルーム（中）1・2は、2室の一体利用や個別利用等の用途に合わせた利用ができるようスライディングウォール（SLW）を設置。多目的ルーム（中）2にはキッチン进行、食育事業として離乳食教室（育児学級）や1歳ごはん教室等を実施

社会情勢や市民ニーズの変化等による新たなニーズに対応するため、多目的ルームは必要に応じて様々な事業に活用

学校環境衛生センター

市が薬剤師会に委託し学校や保育園の環境調査を実施。現在は第四中学校体育館棟に設置されているが、保健衛生の拠点施設であり、災害時には災害薬事センターが設置される保健センターに移設。

新型感染症及び災害発生時の転用スペース

新型感染症発生時の規模に応じて、既存棟の4階の多目的ルーム（大）に加え、多目的ルーム（中）1・2、（小）を感染症対策における作業場所等に転用

災害発生時には災害時医療支援拠点及び災害薬事センター等となるため、多目的ルーム（中）1・2、（小）を職員及び専門職による応援チームの待機・宿泊場所や打合せスペース、物資の受け入れ場所等として転用



3F平面図
NO SCALE

《増築棟4階》

臨床検査センター（一般社団法人 武蔵野市医師会）

市内医療機関や学校・保育園等の検体の搬入等、センシティブな情報の運搬を高頻度で行うため、既存棟地下1階の駐車場から増築棟のエレベーターまでを同一フロアの動線とし、地下1階から4階まで来館者と動線が交錯しないよう配置

施設整備時の移設による検査機器等の故障リスクや高額な移設費用を考慮し、再度移設する必要がないよう、臨床検査センターを増築棟に配置

《既存棟4階》

感染症対策衛生用品備蓄倉庫

新型コロナウイルス対応を踏まえ、拡充した感染症対策衛生用品を施設内で備蓄

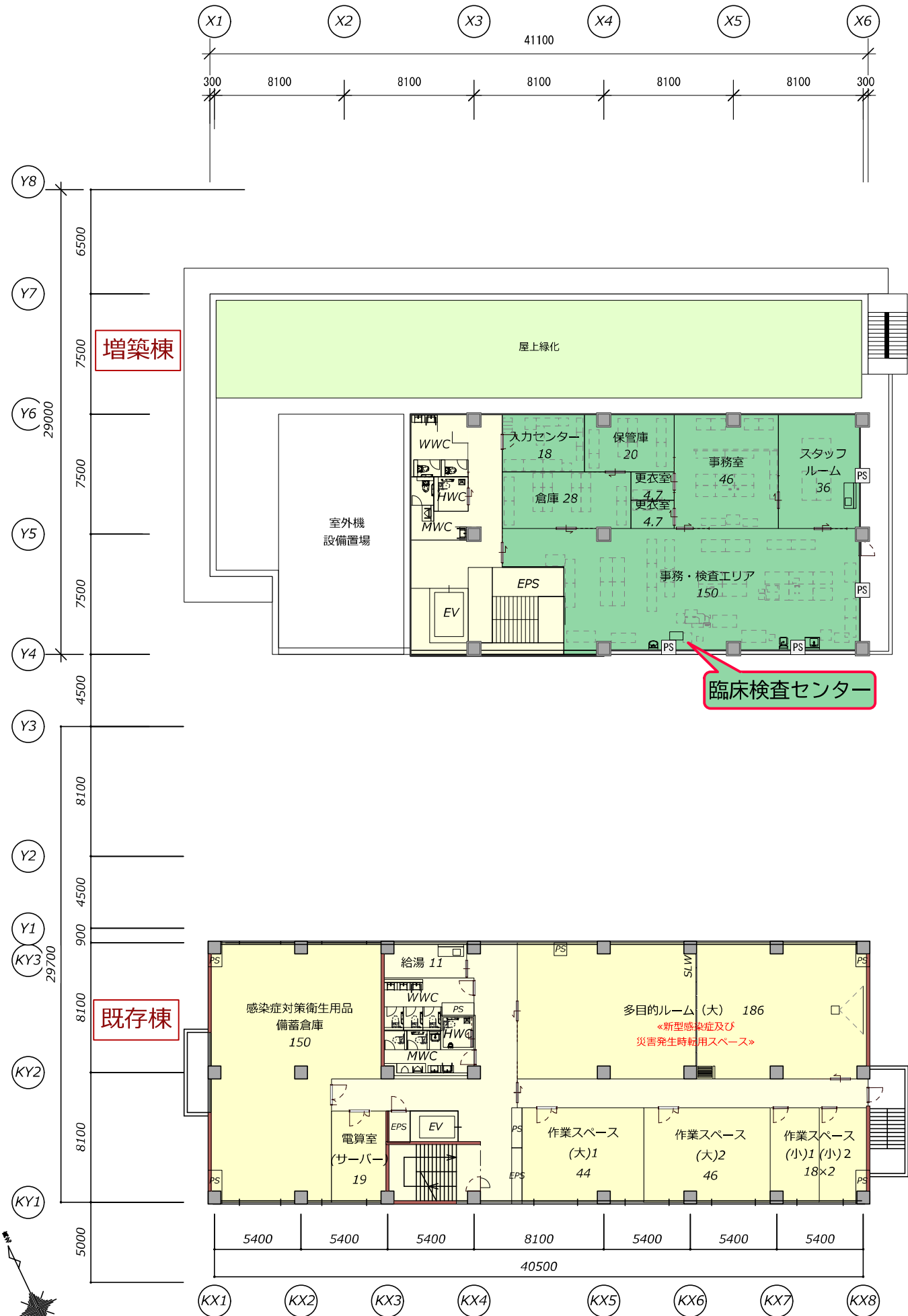
多目的ルーム（大）

一体利用や個別利用等の用途に合わせた利用ができるようスライディングウォール（SLW）を設置
社会情勢や市民ニーズの変化等による新たなニーズに対応するため、多目的ルームは必要に応じて様々な事業に活用

新型感染症及び災害発生時の転用スペース

新型感染症発生時には、多目的ルーム（大）をワクチン接種等を想定した執務室等に転用

災害発生時には、災害時医療支援拠点及び災害薬事センター等となるため、多目的ルーム（大）を職員及び専門職による応援チームの待機・宿泊場所や打合せスペース、物資の受け入れ場所等として転用



《増築棟地下Ⅰ階》

チャレンジルーム

利用者のプライバシーに配慮し、出入口や動線を複数（主出入口【西側】及び公園側出入口【東側】）確保。また、隣接するドライエリアや多目的スペース（中）3において、運動や音の出る活動、野菜・花の栽培等を気兼ねなく実施できるよう地下Ⅰ階に配置

必要な採光を確保するため、光を取り入れやすいドライエリアに面した位置にエントランスホール及び学習室を配置

《既存棟地下Ⅰ階》

多目的ルーム（中）3

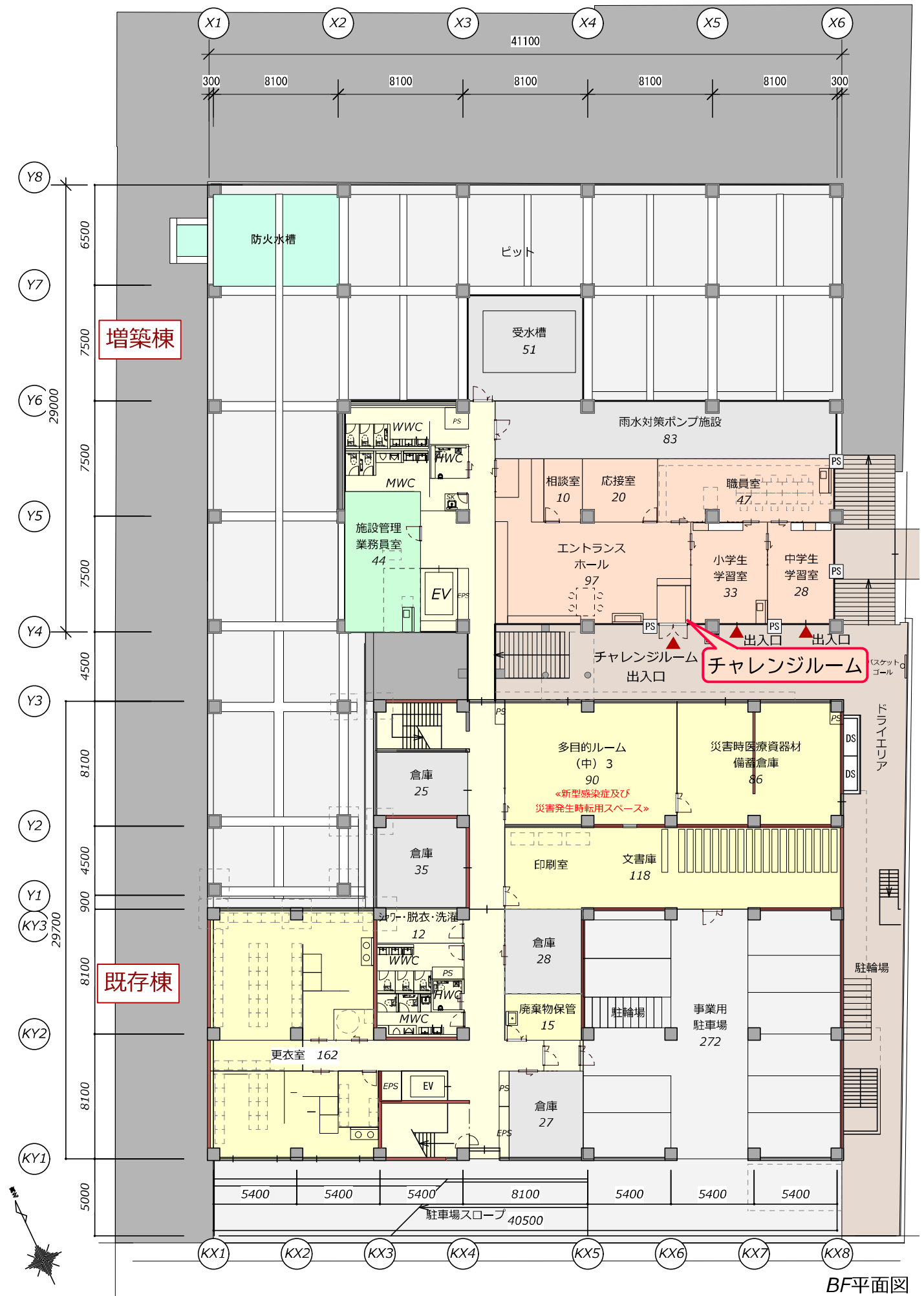
チャレンジルームの活動場所や子どもの居場所としても利用することを想定し、ドライエリアから直接出入りできる扉を設置

社会情勢や市民ニーズの変化等による新たなニーズに対応するため、多目的ルームは必要に応じて様々な事業に活用

災害時医療資器材備蓄倉庫

東日本大震災等の教訓を踏まえ、再整備した災害時医療資器材を施設内で備蓄

災害時において停電した場合でも円滑に資器材を取り出せるよう地下へ配置。災害発生時の建物の状況に応じて、外からも資器材の搬出ができるようドライエリアから直接出入りできる扉を設置



BF平面図
NO SCALE

基本設計における事業費の面積案分

本資料は、基本設計時の総事業費（6,947,324,000円）に対して諸室の面積を案分したものです。

配置 ※2フロア以上にわたる場合は面積順に記載	諸室名称	諸室面積（㎡）	事業費（円）
増築棟1階	エントランスフロア	837.00	660,946,730
	ロビーラウンジ、多目的スペース、アクティブスペース 等		
	【参考】エントランスフロアの主な諸室		
	・ロビーラウンジ	(200.00)	(157,932,314)
	・多目的スペース	(122.00)	(96,338,711)
	・ヘルスプロモーションスペース	(29.00)	(22,900,186)
	・団体（サークル）支援スペース	(18.00)	(14,213,909)
	・アクティブスペース	(147.00)	(116,080,251)
	・子育てひろば	(106.00)	(83,704,126)
・子どもの居場所	(90.00)	(71,069,541)	
《転用》増築棟1階 《転用》既存棟3階 《転用》既存棟4階 既存棟4階	ワクチン接種を想定した臨時接種会場、 執務室、感染症対策衛生用品備蓄倉庫 《新型コロナウイルス発生時転用》エントランスフロア（増築棟1階）／多目的ルーム（既存棟3、4階） 感染症対策衛生用品備蓄倉庫（既存棟4階）	150.00 +エントランスフロア や多目的スペースなどを転用	118,449,235 ※備蓄倉庫面積150㎡ のみを案分
《転用》増築棟1階 《転用》既存棟3階 《転用》既存棟4階 既存棟B1階	災害時医療支援拠点、災害薬事センター、 災害時医療資器材備蓄倉庫 《災害発生時転用スペース》エントランスフロア（増築棟1階）／多目的ルーム（既存棟3、4階） 災害時医療資器材備蓄倉庫（既存棟地下1階）	86.00 +エントランスフロア や多目的スペースなどを転用	67,910,895 ※備蓄倉庫面積86㎡ のみを案分
既存棟1階	健康課事務室 等 健康課、電算室、管理医室	221.00	174,515,206
既存棟1階	子ども子育て総合相談窓口 等 子ども子育て総合相談窓口、待合	195.00	153,984,005
既存棟1階 既存棟2階	相談室 等 相談室、プレイルーム 等	328.00	259,008,993
増築棟2階 既存棟2階	乳幼児健康診査エリア 受付待合、検査室、健診室、歯科健診室、プレイルーム 等	989.00	780,975,288
既存棟2階	子ども子育て総合相談事務室 等 子ども子育て総合相談事務、待合	510.00	402,727,398

配置 ※2フロア以上にわたる場合は面積順に記載	諸室名称	諸室面積（㎡）	事業費（円）
増築棟3階	老成人健（検）診エリア、健康づくり事業団事務室	787.00	621,463,652
	受付、待合、採血、CT、X線、内視鏡、健康づくり事業団事務室 等		
既存棟3階	子どもの権利擁護事業窓口・事務室	93.00	73,438,526
	子どもの権利擁護事業窓口・事務		
	学校環境衛生センター	50.00	39,483,078
	学校環境衛生センター		
	多目的ルーム	527.00	416,151,645
	多目的ルーム大、中、小		
増築棟4階	臨床検査センター	307.40	242,741,965
	事務・検査エリア、事務室、スタッフルーム 等		
既存棟4階 既存棟3階 既存棟2階	作業スペース、オンライン会議スペース	170.00	134,242,466
	作業スペース大、小（既存棟4階）／オンライン会議室スペース（既存棟2、3階）		
増築棟B1階	チャレンジルーム	235.00	185,570,468
	エントランスホール、小学生学習室、中学生学習室、職員室 等		
既存棟B1階	文書庫、倉庫 等	248.00	195,836,068
	文書庫兼印刷室、倉庫、廃棄物保管		
	雨水対策ポンプ施設	83.00	65,541,910
	雨水対策ポンプ施設		
全体	共有部分	2,981.45	2,354,336,472
	廊下、階段、便所、更衣室、エレベーター、シャワー・脱衣・洗濯、駐車場（既存棟B1階）／機械室（増築棟屋上階）／施設管理業務員室（増築棟1階）／休憩室（既存棟3階） 等		
合計		8,797.85	6,947,324,000

※事業費については、共有部分を▲1円とし端数処理を行っている。

担当課 健康福祉部健康課
子ども家庭部子ども子育て支援課
財務部施設課